



あと一步の向上に向けた取組

函館市立赤川小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ① 指導体制の工夫による基礎・基本の定着 ～ T T 指導・全校支援体制・支援員による指導の充実
- ② 校内研究による授業改善 ～ 組織的な学力向上を図る指導方法の工夫改善
- ③ 落ち着いたある学校生活 ～ 全職員による出迎えと見送り、一斉読書の

2 取組の概要

- ① 指導体制の工夫による基礎・基本の定着
 - ・ 3～6年生の算数科において、全時間を複数による T T 指導で授業を行った。
 - ・ 学級の実態や授業の内容等に応じて、担任同士が授業を交換したり、複数で指導できる全校体制を工夫して取り組んだ。
 - ・ 特別支援教育支援員を全ての学級に配置し、どの学級にも在籍する個別の配慮を必要とする子への個別支援を行った。
- ② 校内研究による授業改善
 - ・ 研究モデル校による、小中連携と生徒指導の機能を生かした外国語活動の研究に全校体制で推進した。
 - ・ 国語科の物語文において、ワークシートを活用し適切に読みとる力を育成する授業方法の研究に取り組み、指導力の向上を図った。
- ③ 落ち着いたある学校生活
 - ・ 児童との関わりを大切にした全教職員による朝の出迎え・帰りの見送りと挨拶、担任がついて行う朝読書による落ち着いた学校生活のスタートを図った。



3 成果 (○) と課題 (●)

- 児童アンケートで、大多数の児童が「勉強がわかる」と答えており、「わかる」「できる」授業の工夫改善が図られた。
- 落ち着いた中で一日がスタートし、学校全体が日常的に落ち着いた状態となっている。
- 基礎・基本的な知識・技能の習得を図るための指導方法・体制の一層の工夫。
- 家庭学習の習慣化、課題や取り組み方法についての工夫。